

誌上行学講習会

高佐日焯上人

畜生心の地獄心。これは非道痴行心でいわゆる不良が婦人を誘惑して貞操を奪う。そしてこれを淫売に売り渡すといったような非道な心をいいます。東京にはよく田舎の方から家出をして来る娘さんがあります。貧困の農村ではとても生活が苦しい。東京へ行けば何とか活路が見いだせるだろうというんでフロシキ包み一つかかえて出て参ります。これに対してポンピキという悪人が待っています。これは「家出娘だな」と眼をつけて、言葉たくみに誘惑する。そして先ず貞操を奪い売り飛ばす。警察の方も眼を配らせているようですが、とにかくその眼を盗んでうまくやっています。このように悪い行為をする心が地獄心であります。畜生心の餓鬼心。これは飢渴痴行心で、痴行とはすでに道ならざる色情行為という意味であります。そういうことで、ことに飢えて、どうも性欲を行います。その行いであります。未婚の若人にも少々の行いが見られるものですが、この年をして立派に結婚生活をやっておる人達の中には、非道痴行心と呼ぶわけでありませぬ。

畜生心の畜生心。これは破論痴行心。例えば夫婦の倫理を破るといったような心であります。妻のある夫が他に愛人を持つとか、めかけを持って、或は夫のある妻が他に人目をと忍んで男をつくるとか、いわゆる姦通するとかという類の心であります。世間を見ると、かく目につくことがあるようでもあります。畜生人の修羅心。これは痴行斗争心であります。いな、一人の男をばさんで二人の女が争うとか、一人の女を困んで二人の男が争うというような心理をさすのであります。畜生心の人間心。これは痴行当然心で、普通の性欲心でなく倫理なき性欲心というべきものであります。道ならざる男女の関係をあたりまえだとして反省しない。公認はされないうが人間は昔からやっ来て、公認はされないうが反省な心の状態を指すのであります。無畜生心の天上心。これは痴行快念心。これを道ならざる男女関係を楽しむ、かくしごとを楽しむという心理であります。畜生心の声聞心。これは痴行知法心。痴行を学ぶという心で、学生時代寄宿生活をしていたと、かくこれを学び知るといふことがあつた。そかに外へ遊びに行くといふこと、夜ひそかに外へ遊びに行くといふこと、

以下次号